

11月の園だより

平成29年度 竜光保育園 第629号

《園長の言葉》

足元を舞い踊る色とりどりの落ち葉や、頬に触れる風の冷たさが、晩秋の訪れを感じさせてくれます。朝晩の気温差が激しく体調を崩しやすくなる時期です。十分な栄養と休息など健康管理にはくれぐれもご留意下さい。

さて、「iPhone」や「iPad」といった電子機器を世界的にヒットさせた元アップル社 CEO(最高経営責任者)の故スティーブ・ジョブズ氏が、自身の子どもたちに電子機器の利用を制限していたのをご存知でしょうか。ジョブズ氏が生前中ある雑誌の記者が、彼の子どもたちがどれくらいハイテク機器に夢中になっているのかを訊ねたところ、「機器の使用を制限しているし、使わせたことのない機器もある」という思いもしない答えが返ってきたと言います。そして、ジョブズ氏自身も機器のスクリーンを見続けながらの深夜までの仕事はひかえていたと言います。また、ジョブズ氏の伝記の著者曰く、「毎晩、スティーブは決まって、キッチンの長いテーブルで夕食をとり、本や歴史や様々なトピックについて(家族と)話し合うのです。誰も iPad やコンピューターを使いません。子どもたちはデジタル機器中毒になっているようには全く見えませんでした。【※『スティーブ・ジョブズ』より】と記しており、スクリーンタイム(画面を見つめる時間)よりも、フェイス・トゥ・フェイス(面と向かった)の家族の会話を優先していたそうです。ジョブズ氏は何よりも家族との時間を大切に考えていたのでしょうか。と同時に、スマホやタブレット等によってひきおこされるとみられる弊害を危惧していたとも考えられないでしょうか。現に国内外の多くの研究機関で、視力の低下や睡眠不足、そして著しく損なわれる社交性やコミュニケーション能力、さらには子ども間で会話が成立せず、直情的に暴力行為にはしる等の調査結果がなされています。勿論、状況に応じてやむなくいわゆる「スマホ子育て(育児)」をせざるを得ない場合も必ずあるでしょうし、また機器のメリット面もあると思います。スマホ育児に賛成か反対かではなく、スマホ等のメリットとデメリットを十分理解した上で、最低限の時間制限を設け、子育ての上手なツール(手段・道具)として使用することが肝要なのではないでしょうか。そしてそのベースになければならないのは、ジョブズ氏のような「フェイス・トゥ・フェイス」での家族とのコミュニケーションであることは言うまでもありません。

来たるべき生活発表会にむけて「フェイス・トゥ・フェイス」で子どもたちも先生方も奮闘中です。本番ステージですべての子どもたちの元気な笑顔と更なる成長が今から楽しみです。

ひよこ菜園でのお芋掘り&りんご狩り



《先生の広場》 vol.7 ごとう なおこ 先生



- ☆Q.1 今、トライしたいことは?
A. 英語を習ってみたいです。字幕なしで洋画を観ることに憧れています。
- ☆Q.2 好きな食べ物は?
A. 山芋の鉄板焼き。黙々と食べてしまいます。
- ☆Q.3 保育士になって良かったと思う事は?
A. 行事等を通して子どもたちと一緒に季節を感じられることです。

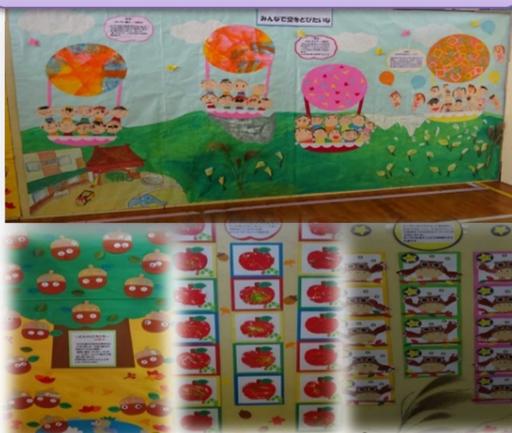


新道寺小学校おもちゃフェスティバル

11月の行事予定

- 10日(金) 誕生会
- 14日(火) 生活発表会リハーサル
- 15日(水) 身体測定
- 18日(土) 焼き芋会
- 25日(土) 生活発表会
- 28日(火) 体操教室
- 中旬 勤労感謝の日訪問(以上児)
- 下旬 避難訓練

東谷フェスタ展示作品



おすすめ絵本のコーナー

『おいしいのぼうけん』

作：ふるた たるひ&たばた せいいち
出版社：童心社



思わず、「懐かし〜この本！本当に怖かったんよね、あのねずみばあさんが…」という声がお家の方から聞こえてきそうなロングセラー絵本です。押し入れの中で繰り広げられる子どもたちのハラハラ・ドキドキの冒険談。少し長いかもしれませんが、勇気や友情、創造力などがちりばめられていて、大きなお子様も楽しめます。ところで、この押し入れへの閉じ込めが実際に保育園で今日なされていたとしたら…、批判殺到間違いなしで考えたら恐ろしいです。

『へんしんトンネル』

作・絵：あきやま ただし 出版社：金の星社



子どもたちが大好きな「はなかつぱ」の著者の作品で、ことば遊びの絵本です。いろんなものがトンネルをくぐると変身します。かつぱさんが「かつぱかつぱかつぱかつぱ・・・」とつぶやきながらトンネルをくぐると〇〇に変わって出てきます。子どもたちとクイズ形式で楽しむこともでき、しかも言葉のおもしろさにも気付くことができる作品です。シリーズもので、ほかにも「へんしんおてんき」などの作品があり、当園の子どもたちも大好きです。

